

各位

2025 年 12 月 9 日
RIZAP グループ株式会社
代表取締役社長 瀬戸 健

湘南ベルマーレに関する一部報道についてのご説明と今後の方針

平素より RIZAP グループ株式会社（以下、弊社）および連結子会社である株式会社湘南ベルマーレ（以下、湘南ベルマーレ）に格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

このたび、弊社および湘南ベルマーレに関する一部報道がございました。ご覧になったファン、サポーター、地域の皆様、ならびに関係者の皆様には、多大なるご心配とご迷惑をお掛けしましたこととお詫び申し上げます。

つきましては、2025 年 12 月 9 日時点で弊社としてお伝えできる事実および見解を、以下の通りご説明いたします。

1. 現時点での事実および見解

<貸付・資金提供に関する報道について>

報道にありました貸付けについては事実です。

まず、2025 年 3 月期は当初計画通り 2 億円の投資に加え、湘南ベルマーレとの業務委託契約に基づき、トレーニング環境の整備・提供、マーケティングや DX 支援などの現物支援を実施いたしました。さらに、2025 年 2 月に債務超過のリスクが生じた際には、J1 クラブライセンス失効を回避するため、約 8,000 万円の追加投資を行いました。これら約 8,000 万円の追加投資により、債務超過を回避し、J1 クラブライセンスを維持することができました。

さらに、グループ全体の資金効率を高める運用の観点から、クラブの安定運営に影響しない範囲の余剰資金を一時的に弊社に貸し付ける処置を行いました。この運用に関しては、湘南ベルマーレにとって有利な利息設定（一般的 1～3% に対し、3～10%）とすることで、クラブの収益改善にも寄与する形といたしました。貸付はいずれも翌月には全額返済しており、利息収入は実際に湘南ベルマーレの利益として計上されています。なお、貸付手続きは眞壁前会長も出席のもと開催された取締役会での決議および監査役と相談のうえ、法令・会計基準に沿って適切に実施しております。また、弊社においては、2025 年 3 月末時点で現預金残高が 200 億円以上あり、財務基盤は安定しており、資金面での問題は一切ございませんでした。

一方で、ご説明が十分でなかったことで、誤解やご心配をおかけしてしまったことを深く反省

しております。今後は、透明性を重視した支援に徹するとともに、皆様に安心して応援いただける環境づくりに誠実に取り組んでまいります。

<経営体制およびクラブ運営に関する報道について>

湘南ベルマーレの未来を第一に考えてきましたが、その一方で、弊社の想いや施策をクラブ関係者の皆様へ十分にお伝えできていなかったことは反省しております。

長年にわたりクラブを支え、地域の皆様とともに歩んでこられた前経営陣の多大なるご功績には深く敬意を表するとともに、その想いを引継ぎ、今回の経営体制の変更は、J2 降格という現実を真摯に受け止め、J1 早期昇格を必ず実現するという親会社としての覚悟を示した決断です。

また、監督の人事については、クラブが独立して判断したもので、弊社は関与しておりません。強化面の最終判断は、これまで通りクラブが担います。

弊社はこれまで以上に強い覚悟で、クラブの発展に向けて全力で支援してまいります。

<出資およびスタジアム整備など将来ビジョンについて>

評議会にていただいたご提案（資本責任、増資の検討、第三株主参画、ブランド戦略、予算拡大など）は、クラブの未来を想う建設的なご意見として、真摯に受け止めております。そのうえで、まずは親会社としてリスクを取り、数億円規模の資金強化を行い、J1 早期昇格を実現できる戦いの土台づくりを実施します。

また、スタジアム整備についても湘南ベルマーレおよび自治体と連携し、実現に向けた支援を前に進めてまいります。

さらに、短期的な選手売却に依存するのではなく、強いチームで戦い続けることが収益拡大につながる経営モデルへの転換を進め、中長期の安定的なクラブ経営を実現してまいります。

2. 最後に（ファン・サポーター・地域の皆様へ）

湘南ベルマーレは、地域に根差し、挑戦し続けるクラブです。湘南ベルマーレが大切にしてきたものを胸に、皆様と共に 必ず J1 の舞台に戻るよう最善を尽くしてまいります。

そのために親会社としての責任を果たし、クラブ経営を強化し、現場を全力で支え、勝てる組織へと再び進化させてまいります。これからも地域の誇りであり続けるクラブを、皆様と共に築いてまいります。

変わらぬご声援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

以上